



アルバトロス

ゴルフで規定打数（パー）より1打少なくホールアウトすることをバーディー（birdie・鳥）、2打少ないのはイーグル（eagle・鷹）、3打少ないのがアルバトロス（albatross・あほう鳥）という。こんなすごい成績だすなんてゴルフ馬鹿じゃないの？という意味らしい。



あほうどり 信天翁

海鳥の一種。北半球ではアホウドリ・コアホウドリ・クロアシアホウドリの3種が生息する。体は白色で翼と尾は黒色。全長1メートルで体重約7キログラム、翼を広げると3メートルにも達する。特別天然記念物、国際保護鳥。絶滅の危惧あり。



## 東大阪子ども家庭センター



大阪府職労 伊東 美恵子さん  
(健全育成課・児童福祉司)

## 子どもたちの権利輝く21世紀を

### 戦争こそが最大の児童虐待

## 憲法守るのは

## 自治体職場から

虐待や誘拐殺害など、子どもたちの生命が奪われるニュースが報道され、心がしめつけられるながら、自分が抱えているケースと合わせて見てしまいますね」という児童福祉司の伊東さん。大阪府は「児童虐待防止法」の施行を受けて府内7カ所にある子ども家庭センターに虐待対応課を設置し、ケースワーカーと心理職を配置している。養護相談のうち虐待のケースは2782件（03年度）、全国の1割を大阪府が占め、この5年間で5倍と、件数が増えている。一方、相談に対応する児童福祉司の配置基準は人口10万13万人に1人と、約40年前から変わっていない。大阪は約6万人に1人の配置になっているが、と

ても追いつかない状況だ。「もっとケースワーカーを増やしてほしいですね。相談の入り口だけでも対応しきれない。それに加えて、一時保護所や児童養護施設も満杯状態です。職員配置も変わらないまま。虐待を受けた子どもはストレスを抱えて保護されているのに安心して過ごせない、つめこまれてという状態なんです」。「不登校やひきこもりの相談の中にも虐待が背景にあることも多くあります。子どもたちには『我慢しなくていいんだよ、嫌なときはイヤと言え』と自分の体と他人の体を大切にせんとアカンねん」と教えた。親にも寄り添いながら、幅広くウィングを広げて、虐待の予防へとつなげていきます。どこかで虐待の連鎖を断たなくてはな

## 憲法 守り生かす

2005年のテーマ

「私の判断が死に結びついたかもしれない」と一人で背負うには重過ぎる心の傷も持っていた。初め担当したときに小学校入学してだった子どもが、やがて大きくなって高校卒業し世帯から転出するとき、一人でありさつに生きてくれた。自分のことをすっかり覚えていてくれたことが理屈めきでうれしかったという。また、生活保護の仕事には常に保護廃止決定がついてまわる。強引な廃止決定をした人が、その後保護を受けていない期間に拒食症がすすみ、結果的に亡くなるということがあった。

## 社会保障制度全体の充実が憲法を守り発展させること

「私」の判断が死に結びついたかもしれない」と一人で背負うには重過ぎる心の傷も持っていた。初め担当したときに小学校入学してだった子どもが、やがて大きくなって高校卒業し世帯から転出するとき、一人でありさつに生きてくれた。自分のことをすっかり覚えていてくれたことが理屈めきでうれしかったという。また、生活保護の仕事には常に保護廃止決定がついてまわる。強引な廃止決定をした人が、その後保護を受けていない期間に拒食症がすすみ、結果的に亡くなるということがあった。



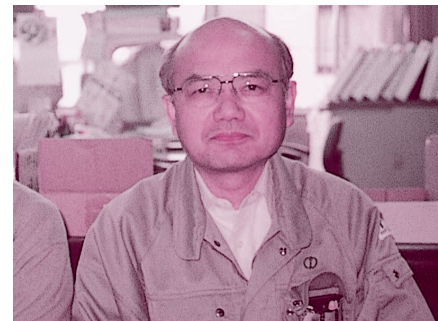
豊中市職労 谷辺 浩幸さん  
(生活保護地区担当員・社会福祉士)



豊中福祉事務所

## 市民憲章「…市民の責任と誇りをもって恒久平和を愛する…」 憲法を守る…自治体労働者としての誇り

寝屋川市駅前に着くと、「恒久平和」が刻まれた市民憲章のモニュメントが目に入る。全国・府下で「憲法を守れ」「憲法9条を守れ」の運動が広がっているが、ここ寝屋川市でも、「進歩と革新をめざす寝屋川市民懇話会」を中心に、「ねやがわ憲法を守る会」が昨年3月26日に結成された。6中学校区ごとに連絡会をつくり有権者過半数の10万人署名とアピール賛同・憲法サポーター11000人を目標に運動がすすみ、地域の反応に手応えを感じている。毎月9のつく日に街頭宣伝、地域へ署名行動を行い、ニュースの発行・学習会なども取り組んでいる。12月現在、署名は4300名、サポーターも2400名を超えている。市職労もこの提起を受け、取り組みをすすめている。「日々伝わってくる緊迫したイラク情勢に、すぐ2000名を超える署名が集まりました」というのは建設支部・支部長の乾邦彦さん。「まだスタートしたばかりでサポーターが少ないんです。学習会を開き、サポーターを市職労や地域にもっと増やしていきたいと思っています」と新春の抱負を語る。



## ねやがわ憲法を守る会

寝屋川市職労 乾 邦彦さん  
(建設支部・支部長)



奪われた。その反省から日本は、憲法9条で戦争放棄と戦力をもたないことを宣言した。この憲法があったからこそ戦争で人を殺すことはなかったし、殺されなかったのだ。「生活保護や教育など権利が守られるのは、すべて憲法という土台があってこそ。現憲法が守られなければすべてが失われるということなんです。公務員であるからこそ憲法を守るのが義務であり、誇りです。国民一人ひとりが憲法を考える、語ることを大切にしながら目標に向かっていきたいと思っています」と平和への願いはさらに熱く広がっていく。